

牛乳パックの開き方

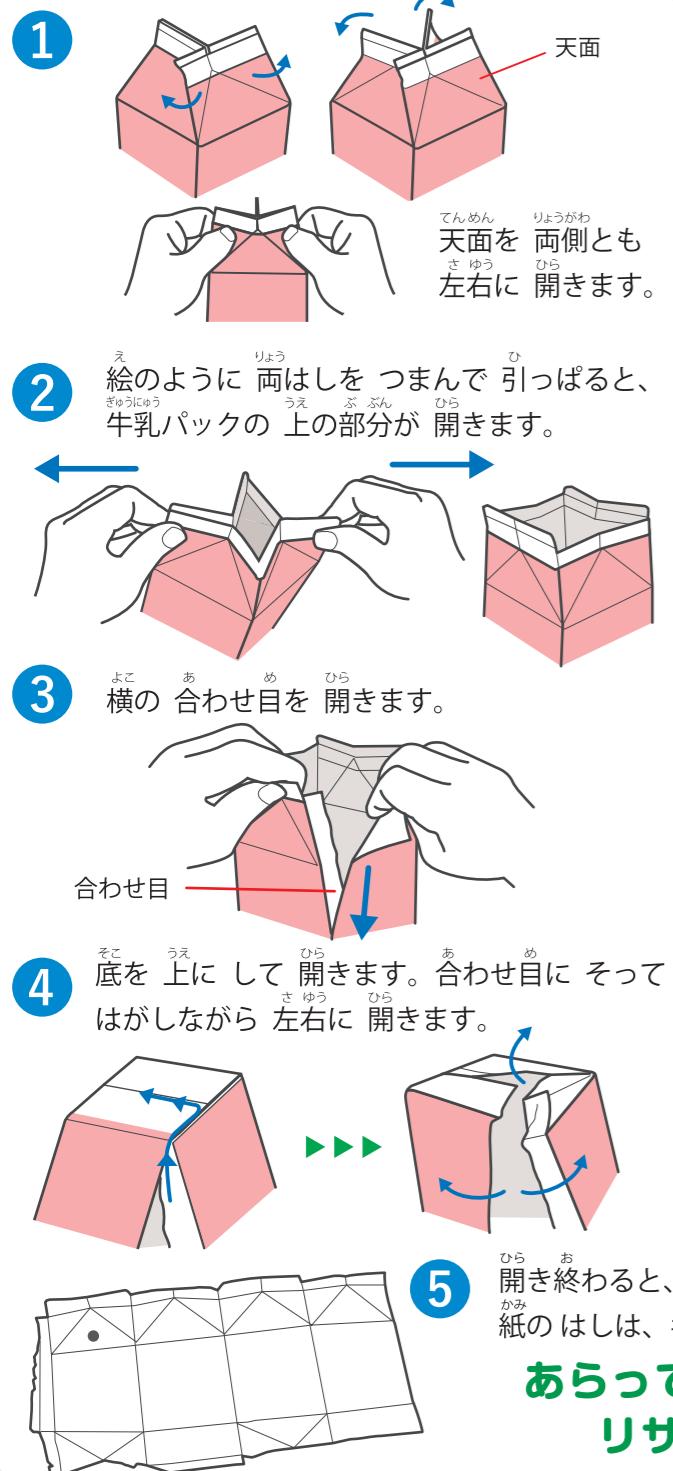


やねがた ぎゅうにゅう
「屋根型」牛乳パック



がた ぎゅうにゅう
「レンガ型」牛乳パック

なかみ 中身が のこっている ことが あるので 注意してください。ストローぶくろが ついていたら 外してください。
※ストローは適切に処理してください。

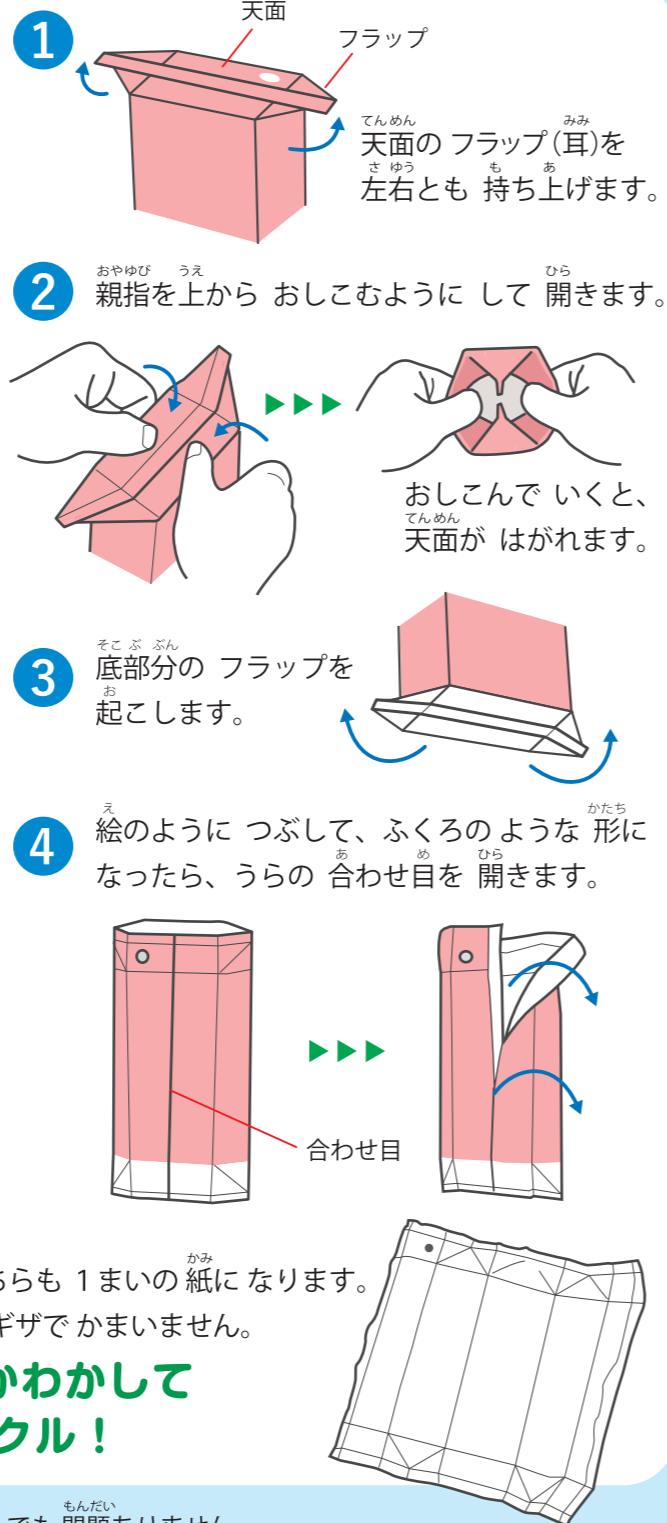


※あらってから 開いても、開いてから あらっても 順番はどちらでも 問題ありません。



容環協のウェブサイトでは、牛乳パックの開き方を動画で紹介しています。

【牛乳パック手開き動画】
<http://www.yokankyo.jp/pack/movie.html>



学校給食用牛乳パック



リサイクルの手引き

学校給食用牛乳パックは、環境教育を実践できる生きた教材です。

地球の限られる資源を大切に使っていくことを、私たちひとりひとりが考え、実践していかなければいけません。牛乳パックは毎日の学校生活の中で実践できる、資源の有効な利用を考えるための教材となります。牛乳パックのリサイクルを考えてみませんか？

児童が
手で開けるかどうか心配だ。

底の固い部分が
開けません。

このようことで リサイクルを
あきらめては いませんか？

乳アレルギーの児童がいます。

引き取り回数が少ないので、
保管庫がすぐいっぱいになってしまします。

リサイクルするための
時間がない。

教室の近くに
水場がありません。

この手引きを読みながら、少しずつ、やってみませんか？

「できるところから、すこしずつ」



紙パック

洗って開いて
リサイクル

全国牛乳容器環境協議会

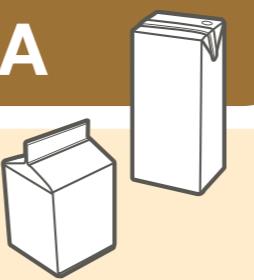
牛乳パック リサイクル Q&A



Q 牛乳パックリサイクルは、どんな効果・利点があるの？

A ①廃棄物の削減につながります。

1000ml牛乳パック(1枚30g)6枚分のパルプは、トイレットペーパー1個分に相当します。
200ml牛乳パックは1枚約10gですので、36人学級が1日分回収するとトイレットペーパー2個分相当のリサイクルになります。



②二酸化炭素の発生を抑制します。

1000ml牛乳パック(1枚30g)を1枚リサイクルすると、23.4gのCO₂排出を削減できます。
200ml牛乳パックは、約3枚で1000ml牛乳パック1枚分に相当します。

Q なぜ牛乳パックは上質な資源なの？

リサイクル製品にはどのようなものがあるの？

A 牛乳パックは、繊維が長く太い「針葉樹パルプ」が主な原料です。

牛乳パックの両面には、ポリエチレン(PE)がコーティングされています。印刷はPEの上にされているので、リサイクル時にPEを剥がすことで、白いパルプが比較的簡単に得られます。

このパルプを原料にして、トイレットペーパーなどに再生されます。



洗い方・開き方・乾かし方など

工夫いろいろ

Q なぜ、洗って乾かすのですか？

A 洗わないと牛乳パック内面にわずかに残った牛乳が腐敗して悪臭が出ます。乾燥させないとカビが生えて、リサイクルできなくなります。

Q 給食時間が短いので、これ以上作業を入れられません。

A 食べ終わる前に、自分の席で牛乳パックを手開きする学校が多いです。片付けは食器と一緒に、洗浄は、1クラス分をまとめて、2~3名の係が2分程度で行っています。

Q 乳アレルギーの児童の対応について

A アレルギー児童の健康を守ることが第一です。牛乳以外にも紙パック飲料があるので皆で学んでみましょう。その上で実践できる児童(クラス)からリサイクルを始めましょう。先生方には、参加できないアレルギー児童へのケアと、他の児童への理解・協力促進をお願いします。

Q 業者が引き取りに来るまでの保管方法を教えて！

A 運搬効率のこともあります。引き取りは月に1~2回程度です。保管には、ポリ袋の使用が多いですが、段ボールを使って、コンパクトに保管している学校もあります。



牛乳パックリサイクルを実践している学校の事例を紹介します

相模原市立横山小学校

1年生が入学後しばらくの間は、6年生が給食の支援を行っています。

最初はパックの手開きはもちろん、一人で食べる事にも不慣れだった1年生でしたが、一ヶ月もすると、上手くできるようになります。

クラスでは、それぞれのペースで牛乳を飲んだ後、手で開いて一か所に集めます。その後、当番が洗いカゴをうまく使い、押し洗いします。

給食の配膳や運搬、食器の片付け、紙パックのリサイクルなど、「みんなで準備して」「おいしく食べて」「きれいに片付ける」という一連の動作が給食の一部として習慣化されました。



横浜市立上末吉小学校

1年生から6年生まで、603人でリサイクルに取り組んでいます。

給食が終わると、その場で手開きし、各自他の食器を片付けるのと一緒に、かごに立てかけます。この一連の作業はあっという間に終了。

洗浄は、給食係さんのお仕事。洗い桶にパックを並べ、水をかけて、上からかごで押さえる作業を2度行います。洗い残しがないか、乾燥が十分かのチェックも念入りに行っていますが、最終点検は、給食委員会の児童が給食室でパックを受け取る際に行っています。

この給食委員会の活動は、児童が自主的に始め、今も続いている。横浜市では、20年ほど前からリサイクルや古紙の資源化に取り組んでいます。パックのリサイクルは、好き嫌いなく食べたり、食器は各自で片付けたりするなど、食育につながると考えられているそうです。



牛乳パックのリサイクルを学ぶ
ウェブサイト「牛乳パックン探検隊」や
DVD、その他各種パンフレットを
用意しています。
お問い合わせください。



▲DVD 7分
△地球となかよし見つけた
『牛乳パックン探検隊』ウェブサイト
(希望する学校にお送りしています)

お問い合わせはウェブサイトの問い合わせフォームへ
<http://www.yokankyo.jp/>

容環協 問い合わせ



全国牛乳容器環境協議会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 乳業会館